

表-3.2.1 ボーリング調査で確認された層序表

地質年代	地層名	記号	分布深度( m～ m)						層相	測定N値 (平均値)	
			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6			
第四期 更新世	表土・崖錐・河床堆積物層	B	0.00 ～ 0.50	0.00 ～ 0.60	0.00 ～ 0.70	—	0.00 ～ 1.25	0.00 ～ 0.25	有機質粘性土（黒ボク） ローム混じり礫 転石	50/3 (-)	
	ローム層	Lm	0.50 ～ 11.25	0.60 ～ 5.40	0.70 ～ 7.00	0.00 ～ 6.80	—	—	上層部はパウダー状で軟らかい。 下層部は軽石粒が混入し半固結。φ60～ 100mm大の礫・転石が混入。	1～6 (3.3)	
	火山碎屑物層-1	Hvb-1	11.25 ～ 16.80	5.40 ～ 11.00	—	—	—	—	不均質で凝灰質砂と火山灰質粘性土の混合 土。砂質土が優勢。 下層部にφ10～20cm大の転石が点在。	3～14 (9.1)	
	火山碎屑物層-2	Hvb-2	16.80 ～ 19.65	11.00 ～ 14.50	7.00 ～ 18.30	6.80 ～ 8.80	—	—	不均質な凝灰質砂と火山灰質粘性土の混合 土で粘性土が優勢。 風化礫や最大100cm大の転石が点在。	1～50 (18.5)	
	火山碎屑物層-3	Hvb-3	19.65 ～ 22.80	14.50 ～ 20.45	—	—	—	—	凝灰質砂主体で粘性を帯びる。 φ10～30cm（最大30cm）大の転石が点在。	27～50 (41.4)	
	火山碎屑物層-4	Hvb-4	22.80 ～ 26.60	—	—	—	—	—	礫混じり砂質粘土。 自破碎安山岩の様相。 固結性は低く脆い。	14～22 (18.8)	
	多賀火山噴出物層	風化火山礫 凝灰岩層	TV-1	26.60 ～ 27.50	—	18.30 ～ 26.35	8.80 ～ 18.80	1.25 ～ 4.80	0.25 ～ 3.60	膠結性の低い火山礫凝灰岩・凝灰角礫岩・ 風化安山岩。土砂化が進行し、節理不明瞭 でRQDが低い。岩級区分はD級。	13～50 (36.9)
		火山礫 凝灰岩層	TV-2	27.50 ～ 31.00	20.45 ～ 26.14	—	—	4.80 ～ 10.35	3.60 ～ 10.20	高い膠結性を有す火山礫凝灰岩・凝灰角礫 岩。岩級区分はCL級。	50～300 (100.3)
		安山岩層	TV-3	31.00 ～ 33.45	—	26.35 ～ 32.37	18.80 ～ 24.02	—	—	硬質な安山岩と自破碎状の安山岩の互層。 節理面に風化物質を挟む。 岩級区分はCM～CL級。	50～300 (204.3)